

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 2 月 16 日				
サブスタック放課後等デイサービスセンター		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
現 状	1	利用者が発達障害等のニーズとの観点で選択されているか。	8			
	2	利用状況や子どもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6	2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備は、活動の目的に応じ、バリアフリー化や情報伝達手段、環境との関係が適切になっているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、子どもが個別の目標や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
備 考	6	事業計画を策定するためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	8			
	7	保護者向け相談により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その旨を事業計画につけていているか。	7	1		
	8	職員の間接的支援を把握する機会を設けており、その旨を事業計画につけていているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業計画につけていているか。	5	3		
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適 切 な 支 援 の 実 現	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個別の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもの発達特性のニーズを把握し適切な方針に基づき、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達障害支援管理責任者だけでなく、子どもの発達特性や活動の目的に応じて、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	子どもの活動の行動計画を作成し、書き出したゴールを用いたフォームやアセスメントや、日々の活動記録と連携したフォローアップやアセスメントを実施する態勢により実施しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供（本事業）の「本人支援」、「関係者支援」、「移行支援」及び「地域連携・情報連携」の4つの基本方針を踏まえながら、子どもの支援に必要な領域が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが変更をしないよう工夫しているか。	7	1		
	19	子どもの状態に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、変更が行われているか。	8			
	20	支援計画には適度な必要十分な余裕を行い、その行われざる場合の内容や変更分析について確認し、チームで連携して変更を行っているか。	7	1		
	21	支援計画には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良い点も共有しているか。	4	4		
	22	日々の活動に関して記録をとることを実施し、支援の検証・改善につけていているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の進捗の必要性を判断し、適切な対応を行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本方針」を個別組み合わせて実施しているか。	7	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す工夫がとられているか。	6	2		
	保 護 者 と の 協 力	26	発達障害支援事業所のサービス提供計画や関係機関との連携に、その子どもの状況よく連携した働きが実施されているか。	7	1	
		27	地域の保健、医療（生活支援協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	
		28	学校との連携体制（特別支援・行事予定等の交換、子どもの学習特別の相談等）、地域連携（活動の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	8		
29		親子に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で連絡共有と相互理解に努めているか。	7	1		
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスが卒業後サービス事業所等へ移行する際、それまでの支援内容の提供を確保する等しているか。	8			
31		地域の児童発達支援センターとの連携を取り、必要に応じてスーパーバイザー制度や助言を受け取る機会を設けているか。	6	2		
32		放課後等デイサービスや児童館との交流や、地域の他の子ども活動する機会があるか。	1	7		
33		「自己支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		
34		日頃から子どもの状況や保護者との声合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか。	8			
35		事業の計画の進捗も把握しながら、実施に際して支援支援プログラム（ヘルプシート・トレーニング等）や事業所の状況である研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		
36		連携関係、支援プログラム、利用者の関係について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
保 護 者 へ の 協 力		37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもが活動の進捗の得意、子どもの最善の利益の優先考慮を踏まえて、子どもが事業の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	38	「放課後等デイサービス計画」を子どもが支援内容の理解を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の理解を得ているか。	8			
	39	事業所からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要相談と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者間で交流する機会を設ける等の取組をしているか。また、きょうだい相談を受けて支援する機会があるか。	1	7		
	41	子どもが活動中から活動について、適切な情報を提供することや、こどもが活動中に困り、活動後や帰りに適切な対応しているか。	8			
	42	適切な連絡等を行うことや、トラブル対応を迅速することにより、活動後や帰りに子どもが活動中の経過をこどもが保護者に報告しているか。	5	3		
	43	個人情報は適切に十分保護しているか。	8			
	44	障害のある子どもが保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招き入れる等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2	6		
	非 営 利 性 の 保 持	46	事業所はマニュアル、業務計画でマニュアル、研修でマニュアル、感染予防マニュアルを策定し、職員が業務に活用することや、関係者から十分な説明が実施されているか。	8		
47		事業計画・計画（経営）を策定することや、非営利性の観点に基づき、定期的に評価、検証その必要を説明を行っているか。	8			
48		事前に、事業や予算説明、てんかん発作等の子どもの状況を説明しているか。	8			
49		役員が士業であることについて、職員の意向に響く対応がされているか。	8			
50		安全計画を策定し、安全計画・必要は研修や訓練、その他必要は研修を実施する等、安全管理が十分れた中で実施されているか。	8			
51		子どもの受診情報に関して、事業所の関係が得られるよう、安全計画に盛り込む内容について、事業所へ説明しているか。	8			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討しているか。	8			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか。	8				
54	このほか法令に定める事項を把握しているかについて、職員に普及し、このほか保護者・事前に十分説明し理解した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				